

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	創業・承継支援強化事業費	部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課				
		実施期間	S54 ～	E-mail	keieishien @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・創業支援拠点「信州スタートアップステーション」や「信州スタートアップ・承継支援ファンド」をはじめとして、様々な支援機関による支援が充実する中で、内閣府の「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市」選定を契機に、長野県の強みを活かし、グローバル展開を見据えたエコシステムに強化する必要がある。

・コロナ禍が長期化したことや物価高の影響等で経営環境が大きく変化する中、後継者不足を背景に事業継続を断念する事業者の増加が懸念されるため、市町村・商工会等との連携により、県内事業者の円滑な事業承継を促進していく必要がある。

2 事業目的

信州スタートアップ・エコシステムの強化及び事業承継の促進を図り、県内経済の活性化を目指していく。

3 事業目的を達成するための取組

①スタートアップ創出のための支援体制の充実

・県内経済を担う次世代産業を創出するため、中小企業診断士や公認会計士の資格を持った専門コーディネーターが常駐する「信州スタートアップステーション」を運営。

・女性起業家養成講座の開催及び県立大学主催イベント「WE-Nagano」の共催。

・スタートアップに対してPR活動、販路紹介、試作品製作等を行うサポート企業を募集し、スタートアップ支援体制を強化するとともに、オープンイノベーションを促進。

・創業応援プラットフォーム会議を開催し、県内創業支援機関等の連携を図る。

・長野県の強みを活かし、グローバル展開を見据えたエコシステムを強化するため、スタートアップ支援の戦略策定と全国のスタートアップや投資家等の関係性構築に向けたPR強化等を実施（R7.9補）

②ソーシャル・ビジネスの創業促進

・地域課題解決に資する創業を促進するために、創業に係る経費の補助や伴走支援を行う。

③郡部への事業承継支援

・担い手不足が深刻な郡部を中心に、市町村、商工会、県（地域振興局）による合同チームを形成し、承継準備状況等を調査するとともに、相談者を掘り起こし、個別フォローを行う。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	件	70	55	↘	42	↘	56	未達成	信州スタートアップステーションの稼働率 3 %増を目指し、相談者の20%の創業を見込む。
②	創業支援金を活用した創業件数	件	23	32	↗	17	↘	30	未達成	令和 4 ～ 6 年度の創業件数が25件であるところ、例年の書類審査件数は40件程度である。事業計画作成支援を強化し、採択率を約50%から75%に引き上げる。
③	承継状況調査後の個別フォロー件数	件	－	310	-	457	↗	240	達成	調査回答数の 2 割程度を想定し、1 実施地域あたり20件程度を見込む。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆会社開業率	%	2023 (R5)	3.1	2024 (R6)	3.1	2025 (R7)	3.1	2027 (R9)	5.0

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	113,213	6,362	119,575	61,756	106,746	2.1
R6年度	0	111,745	0	111,745	43,395	94,460	2.1
R5年度	0	116,742	△14,840	101,902	35,901	93,246	2.1

事業番号	07 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	創業・承継支援強化事業費			部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	

7 主な取組実績と成果

①スタートアップ創出のための支援体制の充実

- ・創業前から創業後5年程度の者を主な対象とし、相談（256人が利用し、延べ515件）、セミナー（23回625名参加）、ワークショップ（4回106名参加）、アクセラレーションプログラム（6社支援）により、機運醸成やビジネスアイデアのブラッシュアップ等を支援し、創業した件数は42件
- ・県内企業等とスタートアップとの協業促進を目的とした「信州オープンイノベーションフォーラム」を佐久市と松本市で開催（スタートアップ16社が登壇し、県内企業等258名が参加）
- ・「信州スタートアップ・承継支援2号ファンド」では令和7年度に新たに7件の投資を実施。投資先企業にはセミナーでの講師登壇の機会や、オープンイノベーションフォーラム・信州ベンチャーサミットでのピッチ実施といった機会を提供し、投資先企業の認知度向上や販路・協業先の開拓、さらなる支援機会の創出を促進した。
- ・創業応援プラットフォーム会議を開催し、県内創業支援機関等における情報共有や機運醸成につなげた。
- ・内閣府の「第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市」選定を契機に、長野県の強みを活かしたエコシステムの構築に向けたスタートアップ支援戦略を策定するため、事例調査及び有識者会議等を実施した。

②ソーシャル・ビジネスの創業促進

- ・支援金の受付・説明会だけでなく、伴走支援員を2名配置し事前相談やビジネスプランのブラッシュアップなどの支援を実施
- ・令和7年度は申請件数84件、うち17件を採択し、採択者すべてが創業
- ・採択事業では、過疎地域対策や子育て支援、社会福祉などの多様な社会課題解決に取り組んだ。

③郡部への事業承継支援

- ・19市町村の行政・商工会・商工会議所と連携の上、承継状況調査を実施し、2,252件の回答を得た。
- ・更に、県事業承継・引継ぎ支援センターとも連携し、個別支援が必要な事業者457社を選定・支援を実施

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	信州スタートアップステーションの支援を受けて創業した件数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
・令和7年度の相談件数は515件（令和6年度521件）であり、前年度からほぼ横ばい。 ・一方で、創業件数42件は前年度比13件の減で目標未達。そのため、内閣府からの第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市の選定を契機に、創業エコシステムの発信強化や信州大学のアントレプレナーシップ教育と連携し、創業環境の充実を図る。 ・関係機関との連携だけでなく、AI等、創業の可能性を高めるトピックをセミナーで積極的に扱うなど、創業関心層の掘り起こしを強化していきたい。							
指標②	創業支援金を活用した創業件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
申請数は前年度並みだったものの、若者・女性など幅広い創業ニーズに対応可能な体制の不足や、締切間際の相談が多く、計画的な支援を十分に提供できず、創業件数が目標に達しなかった。							
指標③	承継状況調査後の個別フォロー件数	R6年度推移	-	R7年度推移	↗	達成状況	達成
関係支援機関で丁寧な個別フォローを実施した結果、達成となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・最新の社会情勢や社会課題を踏まえ、創業トレンドに沿った支援メニューを提供する必要がある。
- ・創業支援金について、応募数及び採択率向上に向け、広報の充実や計画的な事業計画策定支援に取り組む必要がある。
- ・承継状況調査について、関係機関との連携が進んだこと等により回答件数が向上した。引き続き地域と連携して調査を実施していく。

(2) 事業改善の方策

- ・信州スタートアップステーション（SSS）では、AI等、創業の可能性を高めるトピックをセミナーで積極的に扱うとともに、コーディネーターによる相談対応でもAIの活用を常に念頭に置いたアドバイスを行い、創業関心層の増加を図る。SSSから女性起業家支援事業を独立させ、女性起業家向けの創業支援の充実を図る。更に、民間のVC投資と連携しスタートアップの誘致に向けた取組を強化する。
- ・創業支援金について、伴走支援員の増員に加え、信州スタートアップステーションや女性起業家相談窓口等の支援機関との連携により、幅広い創業ニーズを持った申請者に対する事業計画作成支援の体制強化を図る。
- ・事業承継に係る担当者会議の開催、長野県事業承継・引継ぎ支援センター等との連携により回答件数及び個別フォロー件数の向上を図る。

事業番号	07 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	創業・承継支援強化事業費			部局	産業労働部	課・室	経営・創業支援課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	スタートアップ支援事業費		51,359 千円	47,815 千円	75,203 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州スタートアップステーション運営事業	委託	・信州スタートアップステーションの創業支援機能（相談窓口、セミナー等） ・女性起業家養成講座の開催及び県立大学主催イベント「WE-Nagano」の共催 ・スタートアップに対してPR活動、販路紹介、試作品製作等を行うサポート企業を募集し、スタートアップ支援体制を強化するとともに、オープンイノベーションを促進 相談対応515件（うち女性相談44%）、セミナー及びワークショップ等の実施回数27回		
2	創業応援プラットフォーム事業	直接	全県版創業応援プラットフォーム会議開催に合わせて地域の起業支援や起業家の掘り起こし等を実施 会議回数 1回		
3	スタートアップ・エコシステム強化事業	委託	・有識者の知見等を踏まえたスタートアップ支援の戦略策定 ・全国の拠点都市で開催するイベントでのPR及び本県で開催するイベントに向けた企画準備 スタートアップ支援の戦略策定		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	地域課題解決型創業支援事業費		41,887 千円	46,335 千円	31,287 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域課題解決型創業支援事業補助金（ソーシャル・ビジネス創業支援金）	補助金	県内の地域課題を社会的事業で解決を図る者の創業に要する経費を補助するとともに、伴走支援を実施。 補助件数 17件 補助総額 24,579千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	事業承継サポート強化事業		— 千円	310 千円	256 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	事業承継診断事業	直接	市町村、商工会、県（地域振興局）による合同チームを形成し、地域事業者の承継準備状況等を調査するとともに、相談者の掘り起こしを行う。 実施地域 19市町村		